

# 大網ロータリークラブ

## Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：毎週水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター TEL0475-73-3337 FAX73-4360
- 事務所：〒299-3251 大網白里町大網450-6 ユアサビル2階 TEL0475-70-0200
- 会長：矢部 慎一 幹事：星野 実
- 広報公共イメージ向上委員会 委員長 石田 英世



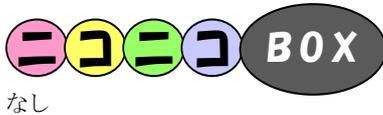
2020年1月29日(水)

通巻第933号

<http://www.oamirotary.com>  
E-mail [rc@oamirotary.com](mailto:rc@oamirotary.com)



点 鐘 会長 矢部 慎一  
ソング 手に手つないで  
会長挨拶 会長 矢部 慎一  
幹事報告 幹事 星野 実  
卓 話 鈴木淳也弁護士  
「この人チカンです！」隣の女性に手を  
掴まれました、さあ貴方ならどうする？



なし

例会日	1月22日	1月8日
会員数	30	30
出席	19	20
欠席	11	10
MU	0	0
免除	0	1
出席率	63.33	70.70

### 会長挨拶

矢部 慎一 会長



皆さん初詣はどこに行かれますか？私は元旦の午前0時に大網の宮谷にある八幡神社に行きます。そして帰って一寝して雑煮を食べてから小湊の誕生寺に行きます。それから5日頃成田山新勝寺に交通安全の祈願に行くのが毎年の初詣のパターンです。その後、1月ではありませんが、毎年5月頃、必ず行くのが神奈川県にある川崎大師です。厄除けとして有名で40才頃から毎年かかさず行っています。ここで護摩をたいてもらってお札を買わうけですが、護摩の前に10分程えらいお坊さんの説法があります。その時の内容を1つ紹介します。その日のテーマは「イギリス」でした。EU離脱の件や、王子が皇室を抜けることで今話題になっている国です。イギリスは紳士の国と言われています。町で出会ったいかにも紳士らしい服装をした人に、あなたは紳士ですかと尋ねた時「ハイ、私がイギリスを代表する紳士です」と答えたら、残念ながらこの人は本当の紳士ではないそうです。

又、違うそれらしい人に尋ねてみて「いいえ私はまだ紳士とは言えません。ただイギリスを代表する様な紳士になれる様日々努力をしています」と答えてくれた人、この人こそ本当の紳士だそうです。目的とするものに到達したと思っている人は、この先何の努力も進歩もない、まだまだ道遠いと思って、そこに行こうと努力している人が本当の紳士と言える人であるとお坊さんは教えてくれました。ロータリアンの皆さん、私達はいくつになっても学ぶ心、向上心を持ち続けましょう。このことはいくら欲張っても欲張り過ぎにはならないと思っています。

### 会員卓話

高山 義則 国際奉仕リーダー

#### スリランカ奨学金授与式に参加して



今年度は石田会員、板倉会員夫婦と高山の4名が参加しましたので、3名で報告させていただきます。

1月9日 11時20分発スリランカ航空で、総勢14名で出発しました。コロンボに17時50分に着きました。空港にはアラワワンサ僧侶と里子9名の出迎えを受けました。里子には参加者全員から100円程度のお土産のチョコレートを手渡しました。泊まったホテルは昨年と同じバサバーナホテルでした。

1月10日 クールネガラで奨学金授与式を行いました。33名の里子と親が参加しました。式の後、参加した9名の里子と親をバスに同乗させ、自宅に送りながら家庭訪問を行いました。

1月11日 ベヤンゴダで64名の里子と親の参加を得て奨学金授与式を行いました。参加した日本の里親から、3～4名の小中学生までの里子には勉強道具など一式を入れたリュックを、高校生以上の里子には現金を渡しました。式の後、参加した5名の里子と親をバスに同乗させ、自宅に送りながら家庭訪問を行いました。

1月12日 今回、日本から参加のコスモス基金関係者28名全員が勢揃いし、コスモス奨学金スリランカ本部のあるガンパハで、里子103名とその家族の参加を得て奨学金授与式を行いました。

## 1月誕生祝



山岸 健一 会員 S27(1952)1.15

おめでとうございます。

## 東金ビューRC20周年記念例会

期日:2020年(R2年)1月23日(木)

会場:八鶴亭



また、柏東RCから辞書、教科書などの贈呈を行いました。大網RC 絵画展入賞者の表彰式も併せて行いました。入賞者が描いた絵と矢部会長名入りの表彰状及び賞品を手渡しました。残念ながら今回は3名のみの出席でした。当初、予定表には1月11日に行くことになっていたのですが、予定がつかなくなった人がいたのではと思いました。式の後、参加した5名の里子と親をバスに同乗させ、自宅に送りながら家庭訪問を行いました。そのうち1名は大網RCの食糧支援の里子でした。

1月13日 マーターラで22名の里子の奨学金授与式を行いました。式の後、参加した5名の里子と親をバスに同乗させ、自宅に送りながら家庭訪問を行いました。そのうち2名は大網RCの食糧支援の里子でした。我々の参加した奨学金授与式は4箇所です。里子総計222名でした。参加してはませんが別の日に、ボロナルワ、アヌラダブラ、キャンディで奨学金授与式が行われました。現在、里子の数は300名位いるそうです。私が最初に行った5年前は200名位でしたので1.5倍に増えています。それだけ大勢の皆さんの支援が増えたのだと思います。今後とも大網RC 会員皆様のご協力をお願いいたします。この日は最南端のゴールに宿泊しました。

1月14日 食糧支援の里子宅を訪問しました。食糧支援の里子については四之宮会員、板倉達夫会員から1万円づつ預かりましたので、食糧支援の里子4名には5千Rsずつ、その他家庭訪問した14名の里子には2千Rsずつ計48千Rsを渡しました。

\*参考 1,000Rs626円、Rs=スリランカルピー  
(食糧支援の里子の状況について)

- ・父親は右手の肘から先がない。母親は腸の手術をしたが近所の子供2人を預かっている。4000Rs/月の収入で生活は苦しい。親戚や近所の助けがある。
- ・父親は軍人で任務中穴に落ち背中、腰、足首を痛め療養中で休職中。給料は25,000Rs位支給されている。綺麗な家に住んでいるが10,000Rs/月の借家でした。
- ・父親は元軍人で戦死した。母親の内職だけで生活している。
- (その他)
- ・1月11日が満月で仏教徒の祭りにあたり、1月15日はイスラム教徒の祭りで宗派に関係なく学校は休みになる。この日は朝食、昼食だけで夕食は食べない。祭日は、アルコールは飲めない。外国人でも飲めないが、レストランやホテルでも同じですが夕食は食べられます。
- ・大学まで授業料は無料 但し、進学試験は難しいので、皆塾に通っている。

\*紙面上の都合により板倉孝雄会員、石田英世会員挨拶は割愛させて頂きました。

## スリランカ訪問

1/9(木) ~1/16(木)



シギリヤロック



アヌラダブラの世界遺産



板倉孝雄会員里子ファミリー



関谷清一会員 里子 マルシカさん

